

B-4 次の記述は、電波雑音について述べたものである。□内に入れるべき字句を下の番号から選べ。なお、同じ記号の□内には、同じ字句が入るものとする。

- (1) 受信装置のアンテナ系から入ってくる電波雑音は、人工雑音 □ア 及び自然雑音に大きく分類され、□ア は各種の電気設備や電気機械器具等から発生する。
- (2) 自然雑音には、宇宙雑音 □イ による空電雑音のほか、太陽から到来する太陽雑音及び他の天体から到来する □ウ がある。これらの自然雑音のうち、特に短波(HF)帯以下の周波数帯の通信に最も大きな影響があるのは □エ である。また、□オ は □オ のように微弱な電波を受信する場合には留意する必要があるが、一般には通常の通信に影響のない強度である。宇宙雑音
- 1 短波帯通信      2 宇宙雑音      3 熱雑音      4 空電雑音      5 雷      空電雑音  
6 宇宙通信      7 太陽雑音      8 人工雑音      9 コロナ雑音      10 グロー放電
- 宇宙通信      人工雑音      宇宙雑音      人工雑音      宇宙雑音
- 8 5 2 4 6